



復興支援継続の必要性を 強く感じた2日間

天草市長 安田 公寛

市長
随筆

東日本大震災は発生から間もなく半年を迎えますが、被災地の現状をこの目で確かめるとともに、実際に復興支援のボランティアに加わりたいと思立ち、8月初めの2日間、宮城県を訪れました。

初日は東松島市と石巻市を視察しましたが、被災地の惨状を目の当たりにし、言葉も出ずしばらく立ち尽くしてしまいました。まったく手付かずの地域がまだあるほか、がれきの撤去が進んでいる地域でも、その傍らにがれきや廃車が山のように積み上げられており、復興には長い年月と多くの支援が必要であるということを実感

しました。

2日目は農地のがれき撤去作業に従事しましたが、昨年まで黄金色に輝く稲穂で一面を埋め尽くしていたであろう田んぼは、耕作放棄地のように雑草が生い茂り、見る影もなく荒れ果てていました。全国から集まった20人ほどのボランティアの皆さんとともに作業を行いました。特に半数を占めた20歳代の若者がひたむきに、そして汗まみれになって作業に取り組む姿を見て、震災を通して生まれた人と人との新たな「絆」の大切さと、今後の支援継続の必要性を強く感じました。

煌めく人々たち

ヒトとモノの行き交いを支える“生命船”

山並史典 さん (御所浦町御所浦・37歳)



御所浦町御所浦に住む山並史典さんは、同町の御所浦港を拠点に本渡港、倉岳町の棚底港など、一定の航路を定期的に発着する定期船(39トン)の運航を家族らで営んでいる。これは、山並さんの曾祖父が昭和22年に始めたもの。長年、御所浦地域と天草上島・下島を行き来する人たちの足の役割を果たしているほか、食料や日用品といった生活物資の輸送を担っている。

大阪にある大学を卒業後すぐに帰郷し、家業を手伝い始めて15年になる。以前までは、主に船の接岸作業や貨物の積み降ろし、港での乗船案内などを担当していたが、父親とともに操舵やエンジンの調整業務を行っていた船員さんが勇退。このため、大型船舶の航行に必要な海技士(航海機関)の資格をそれぞれ取得し、現在は船に乗りエンジンの調整を行うほか、みずから預かる航海は、責任の重さも、山並さんは顔を引き締める。一方で、「父ともう一人の船員さんも70歳を超えているし、あらたな担い手もない。今の体制をどこまで維持できるかは不透明」と山並さん。航行を担う船員の高齢化、とりわけ担い手不足はかなり深刻だという。それでも、「ほかの定期船やフェリーもあるが、通勤客や病院通いのお年寄りなど、一つでも船がなくなると困る人たちがいるから」と山並さんは話す。

ハッピー パースデー

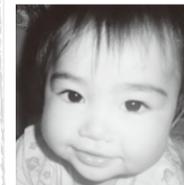
HAPPY BIRTHDAY
今日で1歳になります



岩本 純生 くん

亀場町亀川
父・順次さん
母・恵さん

おじいちゃん・おばあちゃん、いつも遊んでくれてありがとう♡



山崎 彩可 ちゃん

深海町
父・友広さん
母・紀子さん

大誠兄ちゃん、悠羽・音韻・優真・寧々ちゃん、深海保育所みんな大好き♡



吉本 充織 ちゃん

浜崎町
父・功さん
母・歌織さん

さっちゃんじいちゃんありがとう。



下村 心絆 ちゃん

佐伊津町
父・真矢さん
母・早百合さん

優しい元気な子に育ってね。パパとママのこと嫌にならないでね♡



松本 陽翔 くん

本渡町広瀬
父・裕晃さん
母・昌子さん

ひまり姉ちゃんこれからもヨロシクネ。



川端 一華 ちゃん

今釜新町
父・竜二さん
母・薫さん

たくさん食べて、たくさん遊んで元気に大きくなってね!!



小野川 輝 ちゃん

浜崎町
父・良介さん
母・美加さん

いつも元気☆たくさん食べてすくすく育ってね!



中武 桃子 ちゃん

亀場町食場
父・治彦さん
母・菜穂子さん

元気に育ってね♡



眞田 明美 ちゃん

楠浦町
父・好輝さん
母・洋子さん

歩けるようになったから、たくさん遊びにつれてってね。

10月で満1歳になるお子さんを募集します!

- 応募期限=9月9日(金)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



先日、家族で花火を見にいきました。会場となった公園はとても広かったので、ゆったりと花火見物ができました。また、誰かに思いを伝えた後に花火を打ち上げる“メッセージ花火”には感動。私もあんな方法でとわの愛を誓ってほしかったなー。ペンネーム：たまや

最近、年をとったせいか月曜日になかなかエンジンがかかりません。体は疲れているし目はかすむし、やる気が起こらない、いわゆる『月曜病』です。シャキッとするために「ファイトー、一発!」を飲むも効果は持続せず、あとは摂生と気力にたよるのみかな。ペンネーム：息切れのアラゴ



皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、100字程度(応募者多数の場合は選考)。※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。

- ▶応募期限=9月9日(金)まで(必着)。
- ▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入し、天草市役所秘書課へ提出してください。

[郵送・持参]
〒863-8631 市内東浜町8-1(郵送の場合は住所記載不要)
天草市役所・秘書課広報係
[電子メール]
hisuyoka@city.amakusa.lg.jp